



★はじめに★

牧村夫妻

エムエム三太とは、この物語に、登場する主人公、牧村三太のニックネームです。  
 はじめのMは、英語のミラクル(MIRACLE=奇跡)で、次のMは、マイチー(MIGHTY=力強い)のかしら文字です。  
 ふしぎな、力の強い三太という意味が、おわかりでしょう。これは、奇跡の少年、三太の物語です…



①

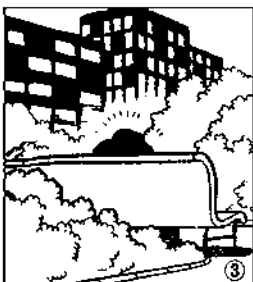


ウルフ  
 エイトか!?  
 そう  
 です。

8



②



③



おまえで  
 なければ  
 できん  
 仕事が  
 できてな  
 …  
 ほう?

④



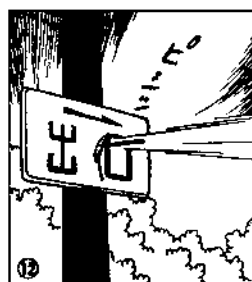
ずいぶん  
 ひさかた  
 およびで  
 すな

⑤



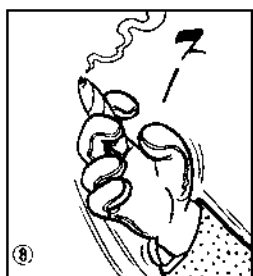
おまえの  
 腕のほうは  
 どうだ!?  
 しほらく  
 使つてないが  
 安心していい  
 かな?

⑦



エムエムが  
 羽田へ  
 つく!!

⑥



⑧



は!!



⑨



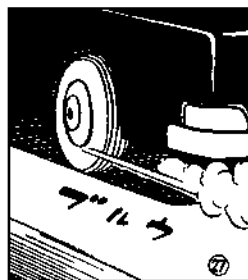
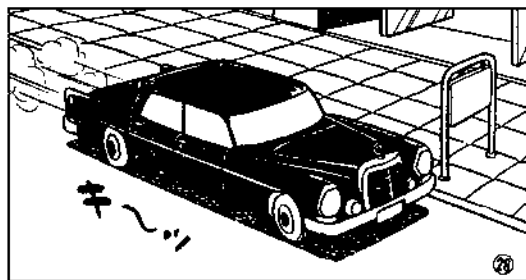
フフ  
 にぶつては  
 おらんな  
 では  
 話そう。



エムエムが  
 日本へ  
 くるん  
 ですか?  
 くるのでは  
 ない。  
 帰ってくる  
 のだ!!

⑩

9



エムエムに  
ついて  
わかった  
ことは  
日本人!!  
たった  
それだけで  
あとは  
わからん。



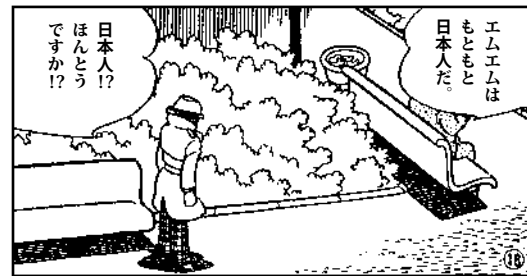
あとは  
おまえが  
じぶんで  
やれ!!  
どうすれば  
エムエムを  
けるのか  
考えるのだ。



あす…  
十五時に  
羽田に  
つく!!



まるで  
子ども  
だ!?



日本人!?  
ほんとう  
ですか!?

エムエムは  
もともと  
日本人だ。



だが  
そのエムエムが  
日本で  
動き出す  
まえに  
けさねは  
ならん

ほうって  
おくと、  
われわれの  
命とりに  
なるかも  
しれんのだ。

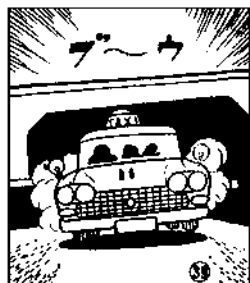
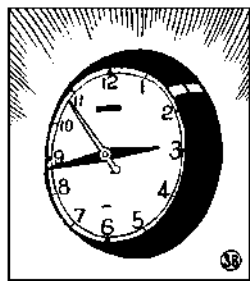
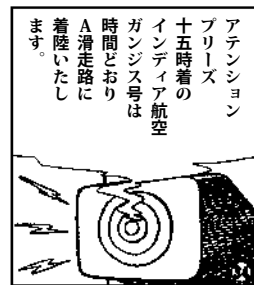
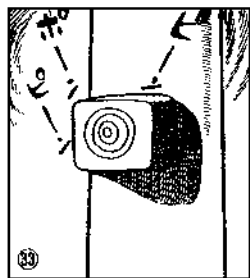
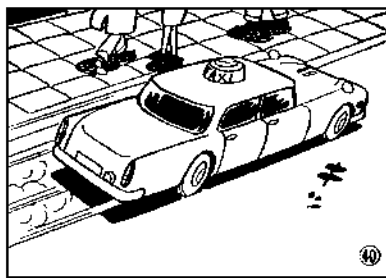
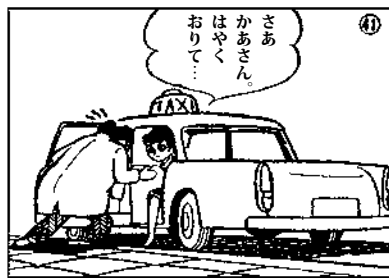


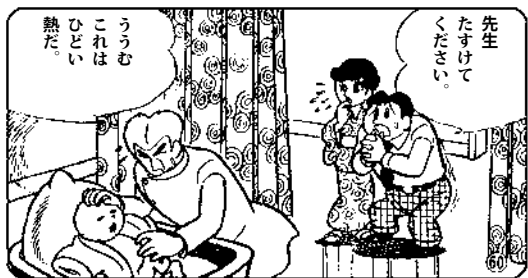
もうひとつ…  
エムエムの  
身長は  
一五二センチ  
だ。

一五二…?



そうそう  
わすれていた  
エムエムは  
エジプトの  
マホメッド  
博士どいっしょ  
にくる。





ううむ  
これは  
ひどい  
熱だ。

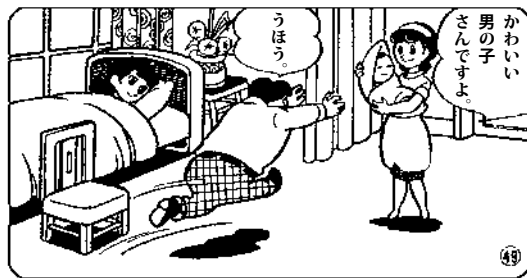
先生  
たすけて  
ください。



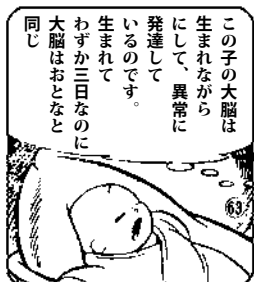
その  
三太の  
ようすが  
おかしく  
なったのは  
うまれて三日め  
からだった。



へへえ  
どうだい  
かわいい  
もんだ。



かわいい  
男の子  
さんですよ  
うほう。



この子の大脳は  
生まれながら  
にして、異常に  
発達して、  
発達して、  
生まれて  
わずか三日なのに  
大脳はおとなと  
同じ



これは  
めずらしい  
病気です。  
ほとんど  
例を  
みません  
?



お気の  
どくです  
が……  
助からん  
のですか？



いい名だろ  
どうだい？  
へんなの。



さあ  
いいか。  
おまえには  
わたしが  
いい名を  
つけてやったん  
だぞ。  
おまえは  
牧村三太だ。



ハッハッハ  
ベロベロ  
バーアだ



生きて  
いればだど！  
なぜ大脳が  
できすぎて  
いて  
いかんだ！  
天才以上だ。  
生きていれはの  
話ですが……



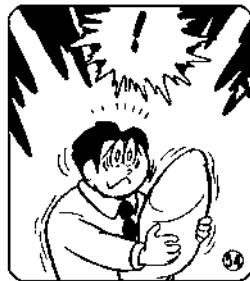
つまり  
知能は  
われわれと同じで  
からただけが  
赤ん坊なの  
です。  
それなら  
この子は  
天才か！



うわあ？



なにか  
いったよ  
三太なんて  
いやだな



三太くんの  
場合は  
命令する  
大脳かどびぬけて  
いて、そのほかの  
神経がついて  
いけないの  
です。



つまり  
人間は、  
大脳でたす  
命令を  
小脳や中枢  
神経がうけ  
ついで、からだの  
機能が動く  
のです。



医者も  
ただ  
おどろく  
だけ  
だった……  
しんじ  
られん。



おどろいた  
ことに、  
三太は  
三時間も  
うまれて  
すると  
ほとんど  
私たちと  
同じくらいに  
しゃべるように  
なったのだ

